SONY 3-858-917-**01**(1)

ラジオカセットプレーヤー

取扱説明書 / Operating Instructions

お買い上げいただきありがとうございます

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

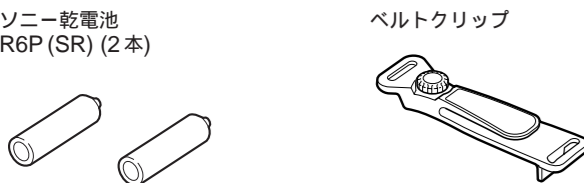
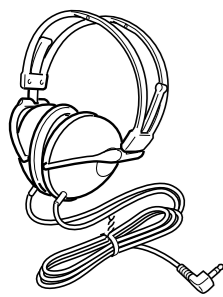
WM-FS1 WALKMAN

WALKMANはソニー株式会社の登録商標です。
WALKMAN is a registered trademark of Sony Corporation.

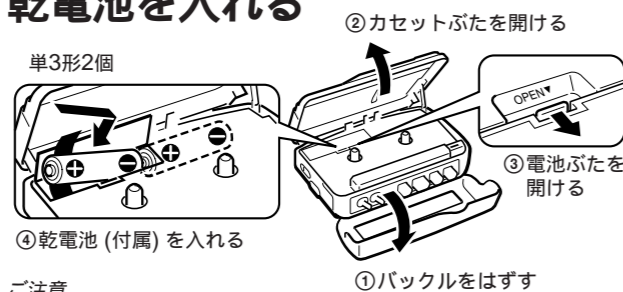
Sony Corporation © 1997 Printed in Malaysia

主な特長

- 水やほこりに強い、**スポーツタイプ**
- 秒単位で、1時間59分59秒まで計測でき、ラップもとれる、**ストップウォッチ機能**
- テープを両面連続再生する、**オートリバース**
- AM5局、FM15局を記憶させてワンタッチで受信できる**プリセット機能**
- 重低音を豊かに再生する、SOUND**機能**
- 耳にやさしい音量にする、**快適音量** (AVLS)

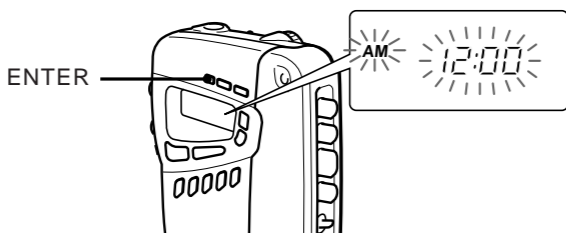
付属品を確かめる

- **ソニー乾電池** R6P (SR) (2**本**)
- **ベルトクリップ**
- **ヘッドホン**
- **取扱説明書**
- **ソニーご相談窓口のご案内**
- **保証書**

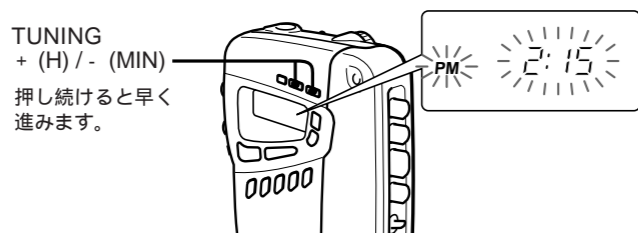
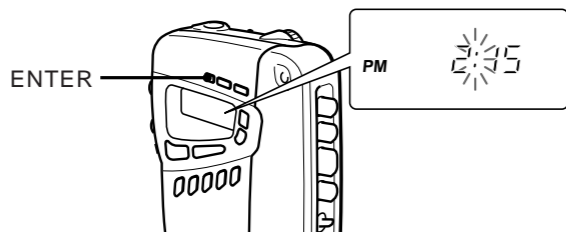
準備する

1 乾電池を入れる

単3形2個
①バックルをはずす
②カセットぶたを開ける
③電池ぶたを開ける
④乾電池 (付属) を入れる

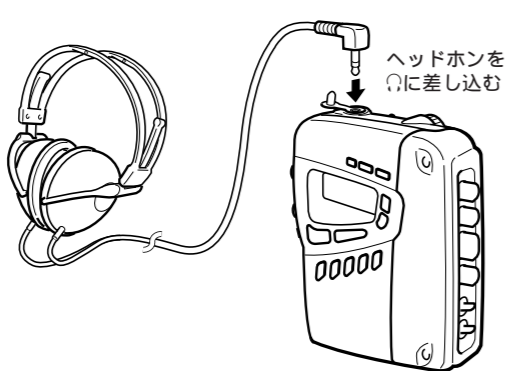
ご注意
- 単3形以外の乾電池はお使いにならないでください。
- 乾電池の＋と－の向きを正しく入れてください。

2 時計を合わせる

1 ENTERボタンを押す
表示窓の時計表示が点滅します。

2 時計表示の点滅中に、TUNING＋ (H) または－ (MIN) ボタンをくり返し押して時刻を合わせる

TUNING ＋ (H) /－ (MIN)
押し続けると早く進みます。

3 ENTERボタンを押す
「：」が点滅し、時計が動き出します。

本機の時計は12時間表示です。
真夜中：「AM 12:00」 正午：「PM 12:00」

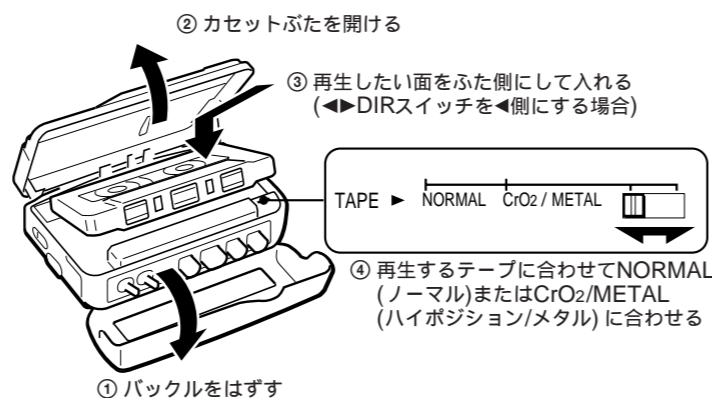
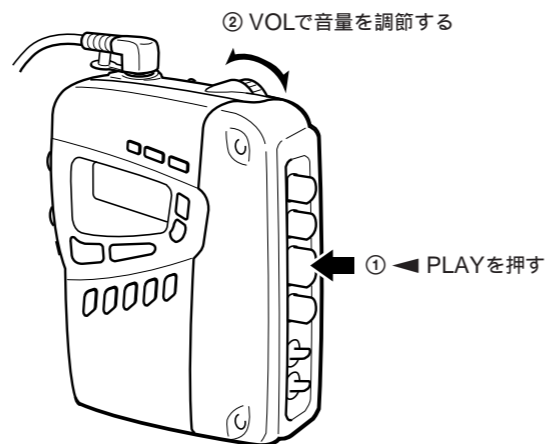
3 ヘッドホンをつなぐ

ヘッドホンを ∩ に差し込む

テープを聞く

テープ片面の再生が終わると、自動的に反対面の再生に変わり、両面を再生します。(オートリバース機能)

1 カセットを入れる

① バックルをはずす
② カセットぶたを開ける
③ 再生したい面をふた側にして入れる (◀▶DIRスイッチを◀側にする場合)
④ 再生するテープに合わせてNORMAL (ノーマル)またはCrO2/METAL (ハイポジション/メタル) に合わせる

2 再生する

① ◀ PLAYを押す
② VOLで音量を調節する

ヘッドホンについて
Lを左に、Rを右に付けてください。

その他のテープ操作

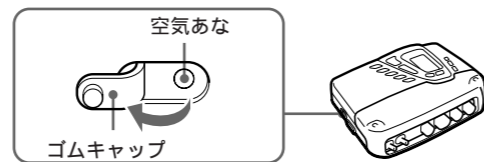
操作	操作するボタンまたはスイッチ
停止	■ STOP
早送り／巻き戻し	◀◀または▶▶*
再生面の切り換え	◀▶ DIR

* テープの再生方向を確認してから◀◀または▶▶を選んでください。

ご注意
テープ走行中はカセットぶたを開けないでください。

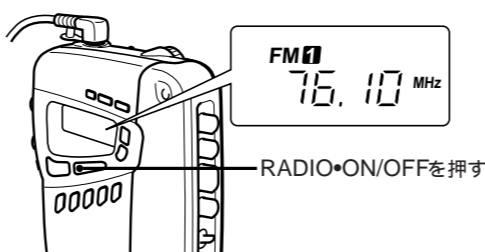
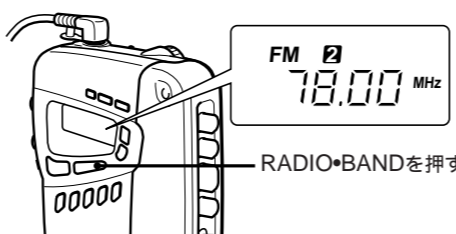
カセットぶたが開かないときは*

ゴムキャップをはずせばふたを開けることができます。ふたが開いたら、必ずゴムキャップを元の位置につけてください。(ゴムキャップをはずしたままにしておくと、水にぬれたときそこから水が入ってしまいます。)

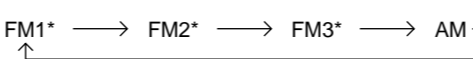
空気あな
ゴムキャップ

* 飛行機で移動したときや、暖かいところから寒いところに移動したときなど、中の空気と外の空気の圧力に差が出ると、カセットぶたが開かなくなることがあります。

ラジオを聞く

1 ラジオをつける

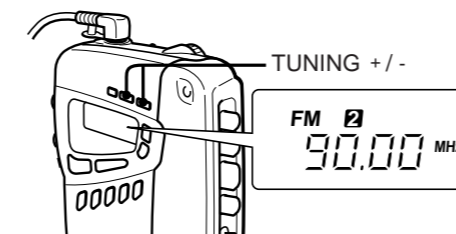
RADIO•ON/OFFを押す

2 AMまたはFM1、FM2、FM3を選ぶ

RADIO•BANDを押す

RADIO•BANDボタンを押すたびに、表示が次のように切り換わります。

FM1* → FM2* → FM3* → AM →(FM1*)

*FM1、FM2、FM3は放送局をプリセットボタンに記憶しておくときに使います。ラジオを聞くときには、どれに合わせても同じです。(「放送局を記憶させる」参照)

3 放送局を選ぶ

TUNE+/－をくり返し押して表示窓を見ながら周波数を合わせる

TUNING +/－

TUNE ＋または－ボタンを長めに押すと、電波が強い放送局を自動的に受信して止まります (自動選局)。電波が弱いときは、ボタンをくり返し押して周波数を合わせてください。

ラジオを消すには
RADIO • ON/OFFボタンを押します

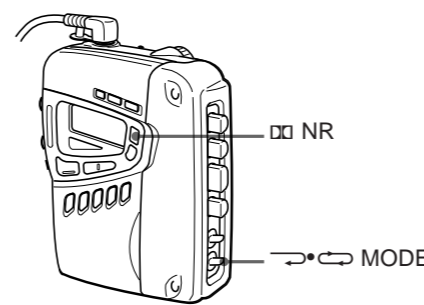
受信状態をよくするには

AM放送
アンテナを内蔵しているので、本体の向きや位置を変えて、聞きやすいように調節します。

FM放送
ヘッドホンのコードがアンテナになっているので、できるだけのばして使います。

▶テープを聞く－応用

いろいろな聞きかたをする

ꟷ NR
MODE

❒ テープ走行のしかたを選ぶ

MODEスイッチを切り換えて、テープ走行のしかたを選びます。

操作	MODEスイッチの位置
両面をくり返し再生	⊂⊃
両面を1回再生*	⊃

* ◀▶ DIRスイッチが▶側になっているときは、本体側の面だけを１回再生し、テープの終わりで止まります。

❒ ドルビー*B NRで録音したテープを聞く

テープ再生中、DD NRボタンを押して表示窓に「DD」を表示させます。録音の特性にあわせた再生ができます。ドルビーB NRを使わずに録音したテープの場合にはDD NRボタンを、もう一度押して表示を消します。

* ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。
ドルビー、DOLBY及びダブルD記号DDはドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。

▶ラジオを聞く－応用

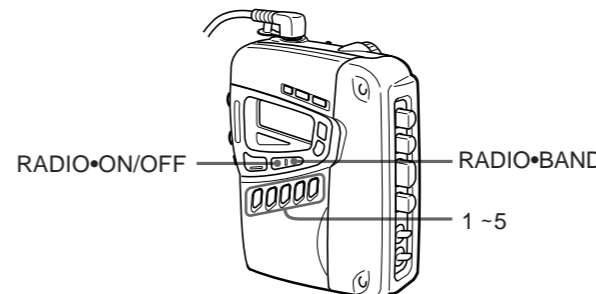
ラジオを聞くときのご注意

受信するとき
- 本体を他のラジオやテレビ、コンピューターなどに近づけると、本機のラジオに雑音が入ることがありますので、離してお使いください。
- 一部が金属製のテープをお使いのとき、受信状態が悪くなるときがあります。その場合はテープを抜いてラジオをお聞きください。

ステレオ放送を聞くとき
ステレオ放送を聞くときはカセットぶたの内側のFM MODEスイッチを「STEREO」(ステレオ) に合わせます。雑音が多いときは「MONO」(モノラル)にすると聞きやすくなりますが、ステレオではなくなります。また、AMはステレオにはなりません。

放送局を記憶させる

いつも聞く放送局をFM1、FM2、FM3に各5局、AMに5局、合わせて20局記憶させることができます。

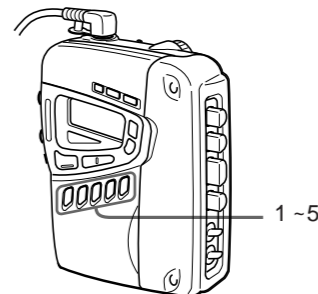
RADIO•ON/OFF
RADIO•BAND
1～5

1 RADIO • ON/OFF**ボタンを押して、ラジオの電源を入れる**
2 RADIO • BAND**ボタンを押して、バンドを選ぶ**
FMの場合は、FM1、FM2、またはFM3のうち記憶させたいバンドをひとつ選びます。
3 **記憶させたい周波数を受信する**
受信のしかたは「ラジオを聞く」をご覧ください。
4 **記憶させたいプリセットボタン** (1～5) **を2秒以上押す**
「ピー」という音がして、表示されている周波数が記憶されます。

記憶させたい放送局ごとに、3～4の手順をくり返します。新しい放送局を記憶すると、同じプリセット番号に記憶されていた前の局は消えます。

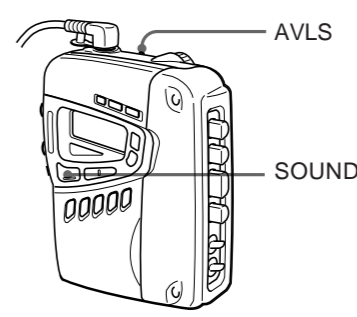
ご注意
ストップウォッチ使用中でも上記の操作は行えますが、受信した周波数は3秒間表示された後、ストップウォッチ表示に戻ってしまいます。周波数が表示されている間に手順4を行わないと放送局の記憶はできないのでご注意ください。

記憶させた放送局を聞く

プリセットボタンを押すだけで受信が簡単にできます。

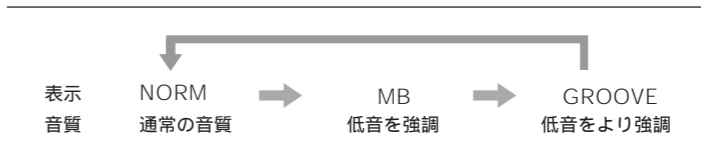
1～5

1 RADIO • ON/OFF**ボタンを押して、ラジオの電源を入れる**
2 RADIO • BAND**ボタンを押して、**AM**または**FM1、FM2、FM3**を選ぶ**
3 **聞きたい放送局が記憶させてあるプリセットボタン** (1～5) **を押す**

▶その他の機能を使う

好みの音に調節する

AVLS
SOUND

❒ 低音を強調する (SOUND)

SOUNDボタンをくり返し押します。押すごとに次のように切り換わります。

表示	NORM	MB	GROOVE
音質	通常の音質	低音を強調	低音をより強調

「GROOVE」(グルーブ)にしたときに音がひずんだように聞こえる曲では、「MB」(メガベース) または「NORM」(ノーマル) にしてお聞きください。

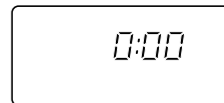
❒ 音もれを抑え耳にやさしい音にする (AVLS－オート・ボリューム・リミッター・システム－快適音量)

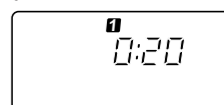
AVLSスイッチを「LIMIT」に合わせます。
低音が強調された曲で音が波打つように聞こえるときは、音量を下げて使います。
AVLSを解除するには、AVLSスイッチを「NORM」に合わせます。

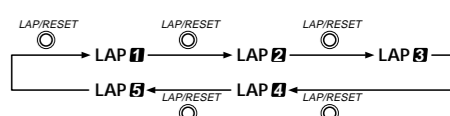
ストップウォッチを使う

START/STOP
LAP/RESET
LAPCALL
DISPLAY

1 DISPLAYボタンを押してストップウォッチ表示にする

0:00

2 START/STOPボタンを押す
経過時間を表示します。

0:20

時間を計測中、LAP/RESETボタンを押すと、ラップ時間表示になります。ラップ時間とラップ番号が3秒間表示されます。5個のラップ時間を記憶することができます。

LAP/RESET → LAP 1 → LAP 2 → LAP 3 → LAP 4 → LAP 5

3 計測を止めるには、もう一度START/STOPを押す

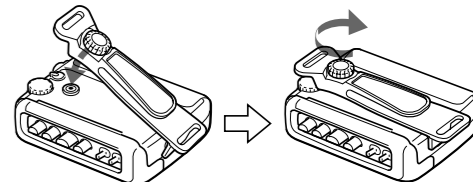
ラップ時間を表示するには
時間を測った後に、LAPCALLボタンを押します。くり返し押すと各ラップの時間と合計時間が順番に表示されます。

測った時間を「0」に戻すには
ストップウォッチを止めてからLAP/RESETボタンを押します。

ストップウォッチを使い終わったら
DISPLAYボタンを押します。

ストップウォッチ使用中にラジオを聞くには
RADIO • ON/OFFボタンを押して、ラジオをつけます。表示窓に周波数が3秒間表示されて、ストップウォッチ表示に戻ります。

ベルトクリップを使う

ベルトにはさんでお使いください。

▶電源

乾電池の取り替え時期は

電池が消耗すると、テープ走行が不安定になったり、雑音が多くなります。
乾電池を2本とも新しいものと交換してください。
乾電池は持続時間の長いアルカリ電池の使用をおすすめします。

電池の持続時間 (EIAJ*)

使用電池	テープ再生時	ラジオ受信時
ソニーアルカリ乾電池LR6 (WM)	約22時間	約38時間
ソニー乾電池R6P (SR)	約7時間	約14時間

*EIAJ (日本電子機械工業会) 規格による測定値です。

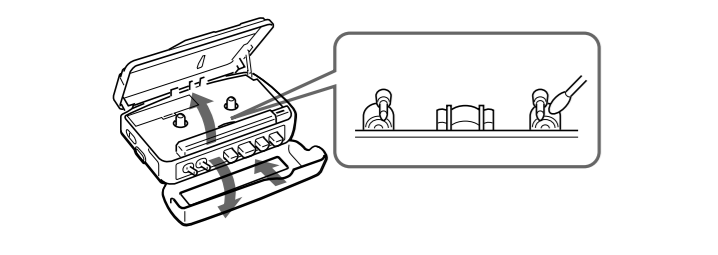
ご注意

- 表示窓に「E」が表示されている間に電池を交換してください。表示が消えてしまうと、記憶した局や時刻も消えます。
- 乾電池の交換は30秒以内に行なってください。30秒以上経過すると記憶した局や時刻は消えてしまいます。
- 電池持続時間は、使用条件によって短くなる場合があります。

▶その他

お手入れ

よい音でテープを聞くために

10 時間程度使ったら、別売りのクリーニングキットKK-WM1などでヘッドとキャプスタン、ピンチローラーをきれいにしてください。

本体表面が汚れたときは

水やぬるま湯を少しを含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコールは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

使用上のご注意

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- ヘッドホンのコードを強く引っぱらないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 温度が非常に高いところ (60℃以上)。
  - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  - 窓を閉めきった自動車内 (特に夏季)。
  - 風呂場など湿気の多いところ。
  - 磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
  - ほこりの多いところ。
- 長い間本機を使わなかったときは、お使いになる前に数分間再生状態にして空回ししてください。

屋外での使用についてのご注意

- 表面が水でぬれていたり、ほこりや砂などがついている場合は、カセットのふたを開ける前に、水、ほこり、砂などをふきとってください。
- ∩ジャックに水が入るとさびることがあるので、ヘッドホンを使っていないときはゴムのキャップをしてください。
- 本機は中に水が入らない構造になっているため、中の空気も外にもれないようになっています。飛行機で移動したときや、暖かいところから寒いところに移動したときなど、中の空気と外の空気の圧力に差がでると、カセットのふたが開かなくなることがあります。このときは、ゴムキャップをはずしてください。(くわしくは、表面の「カセットぶたが開かないときは」をご覧ください。)
- 付属のヘッドホンを水の中に落としたり、ぬらしたりした場合は、やわらかい布で水分をふきとってください。ヘアードライヤーを使って乾かさないでください。
- 本体やヘッドホンを海水に落とした場合、蛇口からでる水を直接かけて洗わないでください。また、せっけんや洗剤は使わないでください。
- ゴムパッキンに砂やほこりがついていると、水にぬれたとき、ふたを閉めていてもそこから水が入ることがあります。ほこりなどは取り除いておいてください。
- 1年ごとにゴムパッキンを交換することをおすすめします。お買い上げ店、またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

長時間テープについて

90 分をこえるテープは非常に薄く伸びやすいので、こきざみな走行、停止、早送り、巻き戻しなどを繰り返さないでください。テープが機械に巻き込まれる場合があります。また、薄いテープで録音すると、高音ののびが悪くなることがありますので、なるべくお使いにならないでください。

ヘッドホンについて

付属のヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。
雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

ワールドモデルをお買い上げのお客様へ
海外では保証書に記載の海外ソニーサービス特約店にご相談ください。

故障かな？

故障とお考えになる前に、次のような点をご確認ください。

症状	原因	処置
音量が大きくならない	AVLSが働いている。	AVLSスイッチを「NORM」にする。
雑音が入ることがある	近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。	携帯電話などから離して使用する。
雑音が多く、音質が良くない	ヘッド、キャプスタン、ピンチローラーが汚れている。	別売りのクリーニングキットKK-WM1できれいにする。
操作ボタンが働かない テープが回っていても音が聞こえない	乾電池が消耗している。	2本とも新しいものと交換する。
表示窓の表示がおかしい	———	電池をはずし、表示窓の表示が消えてから電池を入れなおす。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではラジオカセットプレーヤーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

ワールドモデルをお買い上げのお客様へ
海外での保証とアフターサービスについて
- 保証期間は、日本国内ではお買い上げより1年間、海外では90日です。
- 海外での修理やアフターサービスについてご不明な点は、保証書に記載の海外ソニーサービス特約店にお問い合わせください。

主な仕様

●カセットプレーヤー部・共通部

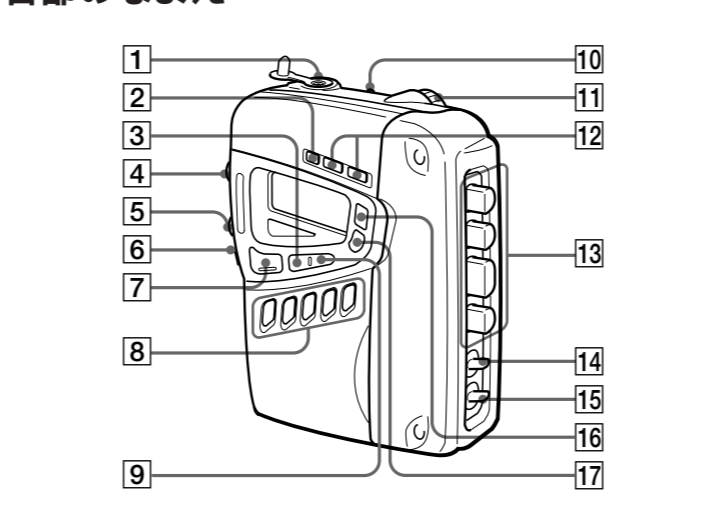
トラック方式	コンパクトカセットステレオ
周波数範囲 (EIAJ*)	40 〜15,000 Hz
出力端子	ヘッドホン（ステレオミニ）ジャック1個 負荷インピーダンス 8〜300 Ω
実用最大出力	5 mW + 5 mW (EIAJ)
電源	DC 3 V 単3形乾電池2個
電池持続時間	乾電池の持続時間については「電源」をご覧ください。乾電池は、持続時間の長いアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。
最大外形寸法	約99.8 × 119.7 × 43.4 mm (幅/高さ/奥行き、突起部含む)
質量	本体 約295 g ご使用時 約375 g (乾電池 2本、テープ C-60HF含む)

●ラジオ部

受信周波数	FM：76.0〜90.0MHz AM：531〜1,710kHz

●別売りアクセサリー
クリーニングキット KK-WM1、
ステレオイヤーレシーバー（ヘッドホン）MDR-E848V、MDR-E837V

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
* EIAJ (日本電子機械工業会) 規格による測定値です。

各部のなまえ

1. ∩ (ヘッドホン) ジャック
2. ENTER (入力) ボタン
3. RADIO • ON/OFF (ラジオ • 電源 入/切) ボタン
4. START • STOP (スタート • 停止) ボタン
5. LAP/RESET (ラップ記憶/リセット)ボタン
6. LAPCALL (ラップ呼び出し) ボタン
7. SOUND (低音増強) ボタン
8. 1-5（プリセット選局）ボタン
9. RADIO • BAND (ラジオ • バンド切り換え) ボタン
10. AVLS (快適音量) スイッチ
11. VOL (音量調節) つまみ
12. TUNING ＋ (H) /− (MIN) (選局＋ (時) /− (分)) ボタン
13. テープ操作ボタン
14. ◀▶ DIR (再生面切り換え) スイッチ
15. ⊐•⊂⊃ MODE (テープ走行方法切り換え) スイッチ
16. DD (DOLBY) NRボタン
17. DISPLAY (表示) ボタン

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
●東京(03)5448-3311●名古屋(052)232-2611●大阪(06)539-5111

English

SAFETY NOTES ON THE UNIT

WARNING

- To prevent fire or shock hazard, do not expose the unit to rain or moisture.
- Do not use headphones while driving, cycling, or operating a motorized vehicle. It may create a traffic hazard and is illegal in some areas. It can also be potentially dangerous to play your headphones at high volume while walking, especially at pedestrian crossings. You should exercise extreme caution or discontinue use in potentially hazardous situations.
- To prevent shock hazards, never open the unit while it is connected to the power source.

CAUTION

- Do not use headphones at high volume. Hearing experts advise against continuous, loud and extended play. If you experience a ringing in your ears, reduce volume or discontinue use.
- Keep the volume at a moderate level. This will allow you to hear outside sounds and to be considerate to the people around you.

SAFETY NOTES ON POWER SOURCES

To avoid battery leakage, fire, damage, explosion, etc., follow the descriptions below.

DANGER

- Do not carry dry batteries with coins or other metallic objects. It can generate heat if the positive and negative terminals of the batteries are accidentally contacted by a metallic object.

WARNING

- Do not charge a dry battery.
- Check the ⊕ and ⊖ on the batteries, and be sure to insert them like the illustration in this manual.

CAUTION

- When you are not going to use your Walkman for a long time, remove the batteries to prevent damage from battery leakage and corrosion.

Precautions

- Do not leave the unit in a location near heat sources, or in a place subject to direct sunlight, excessive dust or sand, moisture, rain, mechanical shock, or in a car with its windows closed.
- Do not wind the headphones cord around the unit. The buttons may be kept pressed, causing unnecessary battery usage.
- Do not use cassettes longer than 90 minutes except for long continuous playback.
- If the unit has not been used for a long time, set it in the playback mode to warm it up for a few minutes before inserting a cassette.
- For cleaning the case, use a soft cloth slightly moistened with mild detergent solution. Do not use alcohol, benzine or thinner.

If you have any questions or problem concerning your Walkman, please consult your nearest Sony dealer.

Specifications

- **Frequency range**
  FM: 76.0-90.0 MHz
  AM: 531-1,710 kHz
- **Power requirements**
  3V DC batteries AA (R6) x 2
- **Dimensions**
  99.8 x 119.7 x 43.4 mm (4 x 4 3/4 x 1 3/4 inches)
  (w / h / d) incl. projecting parts and controls
- **Mass**
  Approx. 295g (10.5 oz)
  Approx. 375g (13.3 oz) incl. batteries and a cassette
- **Supplied accessories**
  Stereo headphones (1) / Belt clip (1)
  Batteries (2)

Design and specifications are subject to change without notice.

Troubleshooting

The volume is not turned up.

- AVLS is set to LIMIT.

The sound is unstable or no audio.

- Insert two size AA (R6) batteries properly.
- Replace all batteries if they are weak.

The display shows incorrect information

- The display may show incorrect information or the preset stations may not be recalled correctly when you use the unit for the first time, or when you have left the unit without batteries for a long time. In these cases, remove the batteries, and wait until the display disappears. Then insert batteries and turn the unit on again.
  The preset stations and the current time will be canceled. Reset these functions again.

Poor tape playback quality.

- Clean the headphones plug.
- Dirty heads. Clean them with a cotton swab slightly moistened with cleaning fluid or alcohol.

Preparations

To Inset batteries

Insert two R6P (SR) batteries (supplied) by matching the + and – on the batteries to diagram inside the battery compartment.

Battery life (approximate hours)

	Sony alkaline LR6 (SG)	Sony R6P (SR)
playback	22	7
radio	38	14

Notes

- When the batteries become weak, the sound will be unstable or cannot be heard. In such case, replace both batteries.
- Replace both batteries while the E indication comes on the display, or all the memories will be canceled.
- When replacing batteries, replace both batteries within 30 seconds; otherwise all the memories will be canceled.
- The battery life may shorten depending on the operation of the unit.

If the cassette holder cannot be opened*

Open the rubber cap, then open the cassette holder. When the cassette holder opens, remember to close the rubber cap. (The Walkman is not water-resistant with the cassette holder open.)

* Since the Walkman is airtight, you may not be able to open the cassette holder because of sudden change in air pressure inside the Walkman which happens after being transported on a plane or moving from a warm place to a cold place.

To use the belt clip

Put the belt clip on to your belt.

Setting the clock

1. Press ENTER.
   The hour and minute digits flash.
2. Press TUNING +(H) or –(MIN), set the time within 10 seconds of flashing.
3. Press ENTER.
   The clock starts.

Tip
The clock is on a 12-hour system.

Playing a tape

1. Set TAPE to match the tape type.
2. Insert a cassette and press ◀PLAY.

To	Press
Stop playback	■
Fast-forward or rewind the tape	◀◀ or ▶▶

To limit the maximum volume automatically

Set AVLS (Automatic Volume Limiter System) to LIMIT. The maximum volume is kept down to protect your ears, even if you turn the volume up. To cancel the AVLS function, set AVLS to NORM.

Tips

- To switch the playback side, set DIR to ◀ or ▶.
- To select the direction of the tape, set MODE to ⊐ to play both sides of the tape once, or ⊂⊃ to play both sides repeatedly.
- To emphasize deep bass sound, press SOUND to select the desired mode. With each press, the indication in the display change as follows:
  MB (MEGA BASS): emphasizes deep bass sound
  GROOVE: emphasizes deeper bass sound
  NORM: off (normal)
- To play a tape recorded with the Dolby* NR system, press DD NR and “DD” will appear. To cancel the DD NR function, press DD NR again.

* Dolby noise reduction manufactured under license from Dolby Laboratories Licensing Corporation.
“ DOLBY “ and the double-D symbol DD are trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation.

Notes

- When you set AVLS to LIMIT:
  - the MEGA BASS effect is reduced.
  - turn down the volume if the bass-boosted sound becomes distorted or unstable.
- Do not open the cassette holder while the tape is running.

Listening to the radio

1. Press RADIO • ON / OFF.
2. Press RADIO • BAND to select the band (FM1, FM2, FM3 or AM).
   Each time you press the button, the display changes.
3. Press TUNING + / – to tune the station you want.

To turn off the radio

Press RADIO • ON / OFF.

To tune the station quickly

Hold down TUNING + / – in step 3. The frequency digits change quickly. When you release the button, scanning begins and automatically stops when it receives a station.

To improve broadcast reception

For FM, extend the headphones cord or set FM MODE.
For AM, reorient the unit itself.

Tip
While listening to the radio, you can switch to the tape by pressing ◀ PLAY, ◀◀ or ▶▶ .

Note
If the broadcast becomes noisy when a cassette with a metallic shell or label is inserted, remove the cassette.

To preset radio stations

You can store radio stations into the unit’s memory. You can preset up to 20 radio stations, 5 for each FM1, FM2, FM3 or AM bands.

1. Press RADIO • ON / OFF.
2. Press and hold 1-5 buttons for more than 2 seconds.The display flashes twice with a beep sound, the station is preset.
   If a station is already stored, the new station replaces the old one.

To play the preset radio stations

Press BAND to select the band, and then press the corresponding preset button.

Using the Stopwatch

1. Press DISPLAY to enter the stopwatch mode.
2. Press START / STOP to start timing.
   When you press the LAP / RESET, the lap time is stored as shown below. The lap time appears for three seconds in the display window. Up to five laps can be stored in the memory.
3. Press START / STOP to stop timing.

To display the lap time

Press LAPCALL after stopping the timing. Each time you press LAPCALL, the lap time appears in order.

To listen to the radio in the stopwatch mode

Press RADIO • ON / OFF to turn on the radio. The frequency appears for three seconds in the display window, and then the timing appears again.

Note

- You cannot preset radio stations when using the stopwatch.